

近畿大学研究コア「地域の歴史を科学する：先端科学技術を用いた考古学的歴史の探求」

第1回ワークショップ

2018年5月16日 近畿大学文芸学部 高宮いづみ・網伸也

1. 近畿大学研究コア「地域の歴史を科学する」ワークショップの趣旨

この度、近畿大学の研究コアとして文芸学部が提案者となり、理工学部（学部長：藤原尚教授）をはじめとする皆様にご協力をいただき、「地域の歴史を科学する」のテーマで文理融合の研究を開始することになりました。

提案者（研究コア代表者）の高宮いづみと網伸也（文芸学部）は考古学の専門家で、文系の研究者ですが、「もの（物的資料）から人間の歴史を考える」考古学は、かねてから理系分野の専門家との共同研究で成り立ってきました。そこで総合大学である近畿大学において、大学の本領を発揮するべく文理融合の本プロジェクトを提案させていただきました。

第1回のワークショップで、理工学部と連携した「考古学的資料の科学分析」をテーマに取り上げ、プロジェクトのスタートを切ることにいたしました。今後、毎月1回くらいのペースでワークショップを実施し、プロジェクトを進めていきたいと存じます。

2. 「考古学と科学分析」第1回ワークショップ

1) 第1回ワークショップの趣旨

第1回のワークショップは、「考古学と科学分析」をテーマにいたしました。このテーマは、主に理工学部のご協力をいただき、今後本プロジェクトの中核になる予定です。

今回のワークショップでは、庄田氏（考古学における科学分析に詳しい）に基調講演をいただいた後、参加者の皆様とのディスカッションを予定しております。目標は、①考古学に貢献する科学分析の方法、②近畿大学の研究者の得意領域と所有機材、③分析に使用可能な考古学的資料の3つをすりあわせて、今後の具体的な考古学的科学分析研究の方向性を決めることです。初回のワークショップですので、フランクで活発なディスカッションを経て新しいアイデアがでることを願っております。

ワークショップの最後に、科学分析以外の今後の展開も視野に入れて、考古学研究の課題になっているヴァーチャルリアリティの遺跡公開への活用と古代遺物の製作再現実験に関する短いプレゼンテーションを予定しています。これらのテーマにつきましても、意見交換と情報提供をお願いいたします。

ワークショップの時間は限られておりますが、その後の懇親会において情報交換とご親交を深めてくださいましたら幸いです。

3. スケジュール

<ワークショップ> アカデミックシアター アクト 116

(司会：網伸也 近畿大学文芸学部教授)

第1部：考古学と科学分析

16:30 開会挨拶と趣旨説明 (高宮いづみ：近畿大学文芸学部長・副学長)

16:40 基調講演 庄田慎矢「考古学と科学分析」(奈良文化財研究所主任研究員)

17:25 質疑応答・ディスカッション

第2部：今後のテーマ提案

18:20 仲林篤史「VRによる河内寺廃寺の遺構展示」(東大阪市教育委員会文化財課)
質疑応答を含む

18:35 藤網伸晴「生砂鋳型を使った鋳造技術の再現」(株式会社藤網合金代表取締役)
質疑応答を含む

18:50 閉会挨拶 (藤原尚：近畿大学理工学部長・副学長)

<懇親会> 花

19:00 開会挨拶 (藤原尚：近畿大学理工学部長・副学長)
食事と意見交換・歓談

20:30 閉会挨拶 (高宮いづみ)